

## 野洲市環境基本計画「ごみ・資源分野」のプロジェクトの成果と見直し項目

(20120228 金谷)

### \* 「ごみ・資源分野」のプロジェクト (PJ)

- ① みんなで進める環境学習
- ② 生ごみ資源化システムづくり
- ③ 天ぷら油を捨てずにエネルギー (BDF) 化しよう
- ④ お得で楽しいリユースステーションをつくろう
- ⑤ 「こんなエコな店があるよ！」ガイドブック作成事業

### 1. 「成果と見直し項目」の検討方法

自然分野と同じ

### 2. PJ の成果と見直し項目

#### (1) 成果

全体として、各 PJ とも、とても精力的に活動されたと評価できる。今後も、引き続き活動されることを期待する。

各 PJ ごとの主な成果は、以下の通りである。

#### ① みんなで進める環境学習

\* 環境学習会の開催 (延べ 214 人参加 ; 市内 7 区総てで開催 ; 地球温暖化抑制をテーマ)

#### ② 生ごみ資源化システムづくり

\* 生ごみ処理実験 (5 種類の方式 ; モニタ 11 名) の実施、報告会 (50 人参加) の開催

#### ③ 天ぷら油を捨てずにエネルギー (BDF) 化しよう

\* 市民アンケート (580 人)、事業者アンケート (187 件) の実施

\* 市内 14 箇所で開催月に廃食油回収 (年 5400L 程度回収)

\* 市の公用トラック (積載量 : 1 トン) で BDF 利用

#### ④ お得で楽しいリユースステーションをつくろう

\* 市との協働で、旧東消防署分署車庫を借りて、リユースステーションを試行的に実施 (20 年度~22 年度で計 7 回)

\* タンス、チャイルドシート、ラック、カバン、ベビーカー、陶磁器、食器など。

#### ⑤ 「こんなエコな店があるよ！」ガイドブック作成事業

\* 「エコな店ガイドニュース」の発行 (22 年度 ; 食料品関係の 31 店舗)

\* 1200 部発行し、市役所・コミセン・図書館等に配布

## (2) 見直し項目

### 1) 全体その1

基本計画記載の各PJの「評価基準」について、活動報告に記載されていないものが、少なくない。

対応する活動自体がまだ実施されていない場合（例えば、①環境学習での、「環境家計簿参加数」）はやむをえないが、対応する活動が実施されている場合（例えば、③BDFでの、「参加世帯数」）は、その評価基準の把握方法を工夫するか、困難なら、今回の見直しにおいて評価基準から削除してはどうか。

### 2) 全体その2

活動報告において、部会名称が、H21から変更されている（H19,H20はごみ・資源部会→H21,H22はエコ資源部会）。基本計画の「分野」名称は、「ごみ・資源分野」である。部会と分野は対応したものであろうから、今回の見直しにおいて、基本計画の「分野」名称を変更するかどうか、検討すべきである。

### 3) 各PJごとの主な見直し項目（PJ振り返り（付箋）、に基づく）

#### ①みんなで進める環境学習

- \*環境学習会のテーマ（地球温暖化以外も？ 環境家計簿も？）
- \*子供向けは？
- \*方法の工夫（クイズ形式、紙芝居、人形劇、環境DVD）
- \*開催を自治会単位では？（人権学習のように開催義務付け？）

#### ②生ごみ資源化システムづくり

- \*生ごみ処理実験に参加した人のみの検討会
  - \*生ごみ処理実験結果の比較検討も（金谷追加）
- \*小規模飲食店への生ごみ処理のPR活動、生ごみ量の把握。
- \*共同処理する施設を試験的にできないか？
- \*出来た堆肥の農園などへの提供販売の仕組みづくり
- \*自治会・学校へのPR

#### ③天ぷら油を捨てずにエネルギー（BDF）化しよう

- \*回収ステーションの増加（自治会単位での回収は？）
- \*行政の踏み込み
- \*説明用のチラシの作成（回収理由と利用先がわかるような）
- \*ペットボトルでの廃食油排出も認めては？
- \*採算性の事前見積もり

#### ④お得で楽しいリユースステーションをつくろう

- \*対象品目の拡大の検討（自転車、制服など）
- \*現開催場所の改良（こうもり対策、より効率的な展示ができるように、よ

りおしゃれな展示ができるような雰囲気(に)

\*他の場所でもできないか？

\*各地域にリユース組織作り

⑤「こんなエコな店があるよ！」ガイドブック作成事業

\*食品以外の分野への拡大（エネルギー分野（風力、バイオ、太陽光など）

\*ガイドブックの見直しを2～3年に1回

\*ガイドブックを作ったことの効果を知りたい（掲載店を利用して、よい点を市の広報等で紹介）

\*地域通貨と連動

4) その他

各PJは毎年の活動が報告としてまとまっており、4年間の活動経過がわかる。しかし、行政の毎年の取り組みは、わからない（4年間（5年間）の全体しか）。行政の取組も毎年わかるようにすべき。

以上

